収　入

印　紙

保証人変更契約書

　債権者○○○○（以下、「甲」という。）と保証人○○○○（以下、「乙」という。）及び新たに保証人となる○○○○（以下、「丙」という。）とは、甲の債務者○○○○（以下、「丁」という。）に対する債権の保証について、次のとおり合意した。

　（主たる債務の内容の確認）

**第１条**　甲ないし丁は、本契約日現在、丁が甲に対して負担する債務（以下、「本件債務」という。）が、下記のとおりであることを相互に確認する。

記

　契約年月日

　元金額

　返済期日

　利息

　利息の支払方法

　遅延損害金利率

　（甲乙間の保証契約の合意解除）

**第２条**　甲及び乙は、本件債務について令和○年○月○日に締結した保証契約につき、本契約日をもって合意解除する。

２　甲及び乙は、前項の解除により本件債務について相互に何らの債権債務のないことを確認する。

　（丙による連帯保証）

**第３条**丙は、甲に対し、丁が甲に対して負担する本件債務について、丁と連帯して保証する。

　（催告の抗弁がないことの確認）

**第４条**　丙は、甲から本件債務について履行の請求を受けたときは、これを拒むことはできない。

　（検索の抗弁がないことの確認）

**第５条**　丙は、丁に弁済の資力があり、かつ、丁に対する強制執行が容易であることを証明しても、甲からの執行を拒むことはできない。

　（連帯保証人に生じた事由）

**第６条**　甲が丙に対してした履行の請求その他の事由は、甲及び丁が別段の意思を表示している場合を除き、丁に対しその効力を生じない。

　（協議）

**第７条**　本契約に定めのない事項または本契約の規定に関して生じた疑義については甲乙協議のうえ解決する。

　（合意管轄）

**第８条**　本契約に関する紛争は、○○地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とする。

　甲乙と丙は以上のとおり合意し、その成立の証として、本契約書2通を作成し、各自、署名又は記名捺印の上、各１通宛所持するものとする。

　令和〇年○月○日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　甲

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　住所　×　×　×　×

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名　〇　〇　〇　〇　㊞

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　乙

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　住所　×　×　×　×

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名　〇　〇　〇　〇　㊞

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　丙

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　住所　×　×　×　×

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名　〇　〇　〇　〇　㊞

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　丁

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　住所　×　×　×　×

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名　〇　〇　〇　〇　㊞